

事例

# 国際交流母の会

白鳥福祉会（茨城県） ☎311-2111 茨城県鹿島郡大洋村上沢76-1 TEL 0291-39-2963

## 活動の概要

2ヵ月に1度、フィリピンやタイ等諸外国のお母さん方を対象に懇談会を開いています。日頃の悩み・生活習慣・最近の出来事等を話し合い悩み等を解決するとともに、お母さん方の親睦を深めることを目的としています。懇談会を行う際に、各国の食物を持ちよることにより食文化の交流をもつことにもなっています。

又、年に1度（12月頃）保育園で集めた衣類等をフィリピンの施設にいる子ども達に、お母さん方を通して贈る活動も行っています。

## 法人の概要

鹿島開発により人口密度も高まり、保育に欠ける子も増加してきたため、昭和51年に認可保育園として開園しました。太平洋が眺められる高台に位置し、松林に囲まれた静かな環境にあります。そのため、夏には海水浴やカブト虫等の虫採りをしたりと、豊かな自然の中で遊ぶことが出来ます。四季の自然に触れながら、生命の大切さを知り、豊かな心と体を育てるよう努めています。

- 経営施設数…2
- 法人全体の年間事業収入…110,000千円
- 主な経営施設
 

大洋保育園	昭和51年設立	定員60名
わんぱく保育園	平成12年設立	定員20名

## 実施施設の概要

- 施設名…大洋保育園
- 施設種別…保育所 定員60名

## 施設の運営方針

当保育園は野性的な子ども達になってもらいたく、あまり制約をしない保育を心がけ、半そ

で半ズボンで1年中いられるようにして、心も体も丈夫一式に保育しています。

## 活動の内容

- 活動対象者…在園児、卒園児、近隣付近の外国人の母親又はその友人
- 活動の頻度…2ヵ月に1回、1回あたり2時間
- 年間延利用者数…約30名
- 活動開始年…平成10年

## 活動開始の背景（取り組みの経緯）

年々諸外国のお母さん方が増えてきています。文化の違いから子育て感も違い、共通理解ができない部分もでてきました。また、言葉の違いから保護者間の意志疎通が出来なかったり、近隣に友人ができないために孤独感があつたりと問題が生じ始めました。そのため、懇談会を開き子育ての悩みや家庭での問題を一緒に解決していくことにより信頼関係ができるとともに共通理解に結びつき、お母さん方の親睦を深めることにもつながるのではないかということで始められました。

## 1. 地域ニーズへの対応 (1) 施設機能などの地域還元

### ■人材・資金面等での工夫、苦慮

12月にフィリピンに送る衣類は、保育園の保護者の方々にお便りで伝え、毎回ダンボール箱5箱ぐらい集まります。年々浸透し、ダンボールの数も増えてきているし、卒園した保護者の方達からも集まるようになってきています。

参加する方がいつも一緒なので、多くの方が参加できるような会にしていきたいと思えます。

### ■利用者の声、地域の反応

日頃の悩みを打ち明けることにより、気持ちが楽になったという声が聞かれたり、懇談会に参加し友人ができた等、笑顔と笑いの中で会が進められており嬉しく思います。夕涼み会等の園と地域が触れ合う機会となる行事にも参加し、「楽しかった」という声も聞かれたので、これからもどんどん参加を呼びかけ、地域の多くの人達にもこの会に参加できるようにし交流がもてるようにしていきたいと思えます。

### ■活動の成果、地域の影響、今後の課題

生活習慣、考え方の違い等価値観のずれが意見交換をすることにより、共通理解ができるようになってきました。又、お互いの食事内容等を教え合うことにより、食文化の交流をもつことができたり、懇談会を通じ友人ができ日頃の生活が有意義になってきた等、良い面が多い。今後は、この活動を通しての地域との関わりがないので、いろいろな行事にもっと参加してもらい、文化交流ができていければと思えます。



フィリピンの施設にクリスマスプレゼントとして衣類などを持参したときの写真